

第1回 医薬品開発のためのサマープログラム報告書

開講日：2013年8月19日～23日（5日間）

参加者：22名

パレクセル社は医薬品開発の分野で働くことに関心を持つ人のための教育プログラムを開発し、米国、ドイツ、シンガポールで実施しています。今回、本プログラムを日本で開始するにあたり薬学教育研究に実績のある本学に打診があり、開催に至りました。この教育プログラムは本学のグローバル人材の育成という目標に合うもので、ドイツから講師を招き、全て英語で実施されました。



お二人の Dagmar 先生
左側：Dagmar McCaughey 中央：Dagmar Peitsch

まったく新しいプログラムであること、授業がすべて英語で進められること等不安なことがあったと思いますが、22名のチャレンジャーが集まりました。

プログラム初日は、さすがに講師の話すスピードや専門用語に戸惑ったようですが、グループワークで助け合いながら理解を深めている様子でした。英語に関しても日を重ねるごとに耳が慣れていき、積極的に発言や質問をするように変化していました。

プログラム最終日近くになって、「終わってしまうのが寂しいです」という参加者の発言には頼もしさを感じました。

最終日の試験を経て、合格した22名全員にサマープログラムの Certificate が授与されました。



緊張の中、自己紹介からスタートしました



活発なグループ・ディスカッション



全員に Certificate が授与されました

今回の良かった点、反省点を整理し、来年度以降のプログラムをより充実したものにしていきたいと考えています。

また、参加者からの意見でも多く聞かれたのが『少しの勇気をもって一步を踏み出すことが大事』という事です。来年度も、たくさんの学生に挑戦してほしいと思います。

最後になりましたが、サマープログラム開講のためご尽力いただいた代表取締役の中森様はじめ、パレクセル・インターナショナル社の関係者の皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。